

(別記様式第1号)

計画作成年度	平成26年度
計画主体	日吉津村

## 日吉津村鳥獣被害防止計画

<連絡先>

担当部署名 日吉津村建設産業課  
所在地 日吉津村日吉津872番地15  
電話番号 0859-27-5953  
FAX番号 0859-27-0903  
メールアドレス kensetsu-san@hiezu.jp

## 1 対象鳥獣の種類、被害防止計画の期間及び対象地域

対象鳥獣	ヌートリア、ハシブトガラス、ハシボソガラス（以下「カラス類」という）、カルガモ・ヒドリガモ（以下「カモ類」という）、ヒヨドリ
計画期間	平成26年度～平成28年度
対象地域	日吉津村全域

## 2 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

### (1) 被害の現状（平成25年度）

鳥獣の種類	被害の現状		
	品目	被害数値	
		面積 (a)	金額 (千円)
ヌートリア	水稻、野菜など	—	—
カラス類	野菜など	—	—
カモ類	野菜など	11.0	251
ヒヨドリ	野菜など	—	—

注) ヌートリア、カラスの被害は、具体的な被害状況の報告はなかったが、計画策定時点で野菜農家等に照会したところ農家の被害を一部確認できた。

### (2) 被害の傾向

#### ○ヌートリア

主に村内のホレコ川周辺の農地の野菜類にヌートリアの被害が顕著に見られる。平成25年度は大きな被害が見られなかったが、今後も被害は発生する可能性がある。

年 度	H21	H22	H23	H24	H25
被害金額 (千円)	31.9	11.0	0.1	160.0	—
被害面積 (a)	1.5	1.0	1.0	1.0	—

#### ○カラス類

大きな被害は発生していないが、野菜等への小規模な被害が継続的に発生しており、今後被害が拡大する可能性がある。

#### ○カモ類

カモ類被害は平成24年度に野菜農家から被害の報告があり、その後被害が継続している。冬季に村内全域でブロッコリーが被害を受けている。

年 度	H21	H22	H23	H24	H25
被害金額 (千円)	—	—	—	264.0	251.0
被害面積 (a)	—	—	—	12.0	11.0

#### ○ヒヨドリ

秋以降、ブロッコリーを中心に柔らかい葉を食害する被害が発生している。

### (3) 被害の軽減目標（主要作物）

指 標	現状値（平成25年度）	目標値（平成28年度）
カモ類（野菜など）	24.0a 251千円	12.0a 120千円

### (4) 従来講じてきた被害防止対策

	従来講じてきた被害防止対策	課 題
捕獲等に関する取組	<p>（捕獲体制）</p> <p>○ヌートリア 村で箱ワナを購入し、捕獲許可を受けた村外の狩猟免許取得者に貸与し捕獲を依頼している。</p>	<p>（捕獲体制）</p> <p>○ヌートリア 野菜等の被害は被害情報が少なく、作目別に情報を集めるなど状況の把握に努める必要がある。 現在、村外個人に捕獲を委託しているが、外来生物法に基づく防除実施計画の策定による捕獲を検討する必要がある。</p>
	<p>○カラス類 被害状況の把握が十分にできておらず、具体的な対策が出来ていない。</p>	<p>○カラス類 ヌートリア同様に被害把握が必要である。地理的条件で銃器による駆除ができないため、効果的な追い払いや飛来防止等の対策を進める必要がある。</p>
	<p>○カモ類 平成25年度に村で電子式爆音機を導入し、平成26年1～3月までブロッコリー栽培ほ場でカモ類の侵入対策試験を実施したが、カモによる食害を受けた。 ブロッコリー生産者は、主体的に吹き流し・テグスをほ場に設置し、侵入を防ぐ対策を取っている。</p>	<p>○カモ類 吹き流しの設置など効果的な追い払いや飛来防止の対策を進める必要がある。</p>
	<p>○ヒヨドリ カモ類と併せて電子式爆音機の侵入対策試験を実施したが、食害を受けた。</p>	<p>○ヒヨドリ 有効な侵入を防ぐ対策の検討が必要である。</p>

### (5) 今後の取組方針

○ヌートリア	被害情報の把握に努め、農作物への被害が拡大する前に捕獲をするため、外来生物法に基づく防除実施計画を策定し、地域からの完全排除を目指す。
○カラス類	農家個々の侵入を防ぐ対策を支援するなど追い払い対策を強化する。
○カモ類	ブロッコリーほ場への侵入を防ぐ有効な対策の調査を行う。吹き流し等の導入助成を行い、被害防止に係る費用負担の軽減を図る。
○ヒヨドリ	侵入を防ぐ対策を引き続き調査する。

## 3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

### (1) 対象鳥獣の捕獲体制

現在、捕獲を行っている有害鳥獣はヌートリアのみで、村外のわな免許所持者1名に有害鳥獣捕獲のため設置した箱わなの管理、見回りなどを委託している。 本計画期間中に、外来生物法に基づく防除実施計画を策定し、ブロッコリー生産者等による捕獲に移行する。
--

### (2) その他捕獲に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
平成 26 年度	ヌートリア	・被害状況の把握 ・外来生物法に基づく防除実施計画の策定準備
平成 27 年度	ヌートリア	・被害状況の把握 ・外来生物法に基づく防除実施計画の策定 ・箱わなの整備 ・計画に基づく捕獲の推進
平成 28 年度	ヌートリア	・被害状況の把握 ・計画に基づく捕獲の推進

### (3) 対象鳥獣の捕獲計画

捕獲計画数等の設定の考え方
○ヌートリア 年間10頭を当面の目標数とし、地域からの完全排除を最終目標とする。

対象鳥獣	捕獲計画数		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ヌートリア	10	10	10

捕獲等の取組内容
(日吉津村全域) ○ヌートリア 捕獲手段：箱ワナを基本とする。 実施予定時期：通年

**(4) 許可権限移譲事項**

対象地域	対象鳥獣
日吉津村	該当なし

**4 防護柵の設置その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項**

**(1) 侵入防止柵の整備計画**

なし

**(2) その他被害防止に関する取組**

被害防止対策で効果等が検証され、農家の実施意向があるときは、前倒しの実施も行う。

年 度	対象鳥獣	取組内容
平成26年度	カラス類	・追い払い対策支援制度の創設
	カモ類	・有効な追い払い対策・侵入防止対策の調査 ・追い払い対策支援制度の創設
	ヒヨドリ	・有効な追い払い対策・侵入防止対策の調査
平成27年度	カラス類	・追い払い対策の推進
	カモ類	・有効な追い払い対策・侵入防止対策の調査 ・追い払い対策の推進
	ヒヨドリ	・有効な追い払い対策・侵入防止対策の調査 ・追い払い対策支援制度の創設
平成28年度	カラス類	・追い払い対策・侵入防止対策の推進
	カモ類	・追い払い対策・侵入防止対策の推進
	ヒヨドリ	・追い払い対策・侵入防止対策の推進

**5 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、又は生じるおそれがある場合の対処に関する事項**

**(1) 関係機関等の役割**

関係機関等の名称	役 割

**(2) 緊急時の連絡体制**

--

**6 被害防止施策の実施体制に関する事項**

**(1) 被害防止対策協議会に関する事項**

なし

**(2) 関係機関に関する事項**

関係機関の名称	役 割
鳥取県鳥獣対策センター 鳥取県西部総合事務所 農林局・生活環境局	○全体計画の支援に関すること

**(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項**

現在村外の経験のある個人に依頼している。外来生物法に基づく防除実施計画を策定し、捕獲に移行する段階でブロッコリー農家に働きかけ、組織の育成を目指す。
--

**(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項**

--

**6. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項**

捕獲後の鳥獣は全て焼却処分としている。
---------------------

**7. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項**

--